

令和元年度
岩内あけぼの学園

事業報告書

社会福祉法人あけぼの福祉会

目 次

I. 利用者の状況	P3
1. 入退所状況	P3
①岩内あけぼの学園(施設入所支援)	P3
②岩内あけぼの学園(通所・生活介護)	P3
2. 居室と担当職員の状況	P4～5
II. 職員の状況	P5
III. 見学・実習生の受入状況	P5
IV. 研修の状況	P6
1. 職場外研修の状況	P6～7
2. 職場内研修の状況	P8
V. 年間行事の実施状況	P8
VI. 生活支援の状況	P9
1. 各種スポーツ大会等の状況	P9
2. 社会生活活動の実施状況	P9
3. サークルとコンサート鑑賞の実施状況	P9
4. 避難訓練の実施状況	P9
5. 建物や設備の整備状況	P10
6. 生活棟(別棟)えみしあの運用について	P10
7. 通院や入院への対応について	P10
8. 新型コロナウイルスへの対応について	P10
9. リハビリ支援について	P10
10. 日帰り旅行の実施について	P10
11. 防犯への取り組みについて	P10
12. 学校との連携と将来的な人材確保について	P11
13. 広域避難訓練の実施について	P11
14. グループホーム ラフォーレの支援について	P11
15. 在宅(通所)利用者の支援について	P11
16. 記録管理システムについて	P11
17. 障がい者虐待防止法について	P11
18. 生活介護の定員の在り方について	P11
19. 利用料収入と支援スタッフの確保について	P11～12
VII. 食事提供業務の状況	P12
VIII. 健康管理の実施状況	P12
1. 日常生活における予防及び衛生	P12
2. 住環境の清潔と感染性疾患の予防	P12
3. 日常の健康管理	P12～13
4. 健康診断の実施と各種検診の受診	P13
5. 感染症罹患患者への対応について	P13
6. 新型コロナウイルスへの対応について	P13
IX. 苦情解決について	P13
X. 日中活動支援の状況	P14
1. 活動グループの状況	P14
2. 各活動グループの活動状況	P15
①生活介護Ⅰグループ	P15
②生活介護Ⅱグループ	P15
③生活介護Ⅲグループ	P16
④生活介護Ⅳグループ	P16
⑤生活介護Ⅴグループ	P17
⑥生活介護Ⅵグループ	P17

I. 利用者の状況について

1. 入退所状況

①. 岩内あけぼの学園、施設入所支援利用者動向

月	現員	施設入所支援状況		異動の状況
		入所	退所	
4	53			
5	54	1		T. Mさん(入所)
6	52		2	M. Tさん、K. Sさん(退所)
7	53	1		N. Tさん(入所)
8	53			
9	52		1	M. Kさん(退所)
10	52			
11	51		1	K. Kさん(退所)
12	51			
1	51			
2	51			
3	50		1	S. Kさん(退所)
合計	623	2	5	

②. 岩内あけぼの学園、(通所)生活介護利用者動向

月	現員	通所利用状況		異動の状況
		通所	退所	
4	12			
5	11		1	T. Mさん(施設入所支援を利用)
6	11			
7	10		1	N. Tさん(施設入所支援を利用)
8	10			
9	10			
10	10			
11	10			
12	10			
1	10			
2	12	2		K. Tさん、S. Yさん
3	11		1	K. Sさん
合計	127	2	3	

2. 居室と担当職員の状況(令和2年3月31日現在)

① 施設入所支援サービス利用者

利用者名 (男性)	担当職員		利用者名 (女性)	担当職員	
	担当	副担当		担当	副担当
K. Kさん	N. S	H. S	Y. Hさん	I. T	E. T
U. Kさん	F. S	K. M	H. Hさん	T. M	A. M
K. Hさん	H. S	T. D	T. Mさん	I. T	K. M
M. Mさん	T. D	M. T	K. Kさん	M. A	E. T
K. Yさん	Z. K	O. K	O. Rさん	F. I	E. T
I. Gさん	O. K	Z. K	I. Rさん	F. M	I. T
M. Mさん	M. Y	N. S	H. Eさん	M. A	S. M
I. Hさん	Z. K	H. S	A. Tさん	N. K	K. N
T. Tさん	K. M	M. Y	N. Hさん	M. A	K. M
M. Sさん	H. S	N. S	E. Hさん	F. M	K. N
N. Tさん	K. M	O. K	T. Yさん	S. M	H. M
Y. Tさん	N. S	F. S	K. Sさん	N. K	M. A
O. Sさん	S. S	F. S	S. Sさん	A. M	F. I
T. Tさん	O. K	M. Y	T. Kさん	A. M	H. M
T. Mさん	M. T	H. S	O. Tさん	I. T	H. M
I. Kさん	F. S	T. Y	N. Yさん	N. N	T. M
T. Tさん	M. Y	M. T	S. Mさん	N. K	F. M
W. Tさん	N. S	S. S	I. Hさん	A. M	F. M
S. Kさん	S. S	K. M	W. Hさん	T. M	T. K
I. Zさん	F. S	T. Y	K. Yさん	K. N	S. M
S. Hさん	M. Y	S. S	T. Kさん	F. M	N. K
A. Sさん	S. S	O. K	K. Kさん	F. I	K. M
Y. Mさん	M. T	T. D	W. Aさん	T. M	N. N
T. Kさん	T. D	I. K	M. Tさん	N. N	T. M
N. Rさん	T. D	O. K	Y. Tさん	K. N	N. K

②通所部 (在宅日中活動サービス利用)

利用者名	担当窓口	副担当	利用者名	担当窓口	副担当
S. Kさん	T. Y	M. T	K. Tさん	H. S	T. D
A. Kさん	H. S	M. Y	N. Kさん	T. K	H. M
T. Kさん	O. K	H. S	D. Hさん	K. M	A. M
M. Hさん	K. M	F. S	A. Tさん	K. M	T. K
H. Yさん	K. M	Z. K	S. Yさん	S. M	T. M
K. Kさん	Z. K	T. D			

※個人情報の取り扱いにご配慮くださいますようお願いいたします。

<利用区分>

	施設入所支援	合 計	備 考
施設入所支援 利用者	男性 25名 (24名) 女性 25名 (26名)	50名(50名)	・カッコ内は定員
在宅(通所)利用者	男性 7名 女性 4名	11名	

II. 職員の状況について

月	職員動向		異動の状況
	採用・異動	退職	
4			
5			
6		1	Y. Y(退職)
7	1	1	M. Y(採用)M. K(退職)
8	1		N. T(採用)
9	1		M. H(採用)
10	1		O. M(岩宇地区相談支援センターへ異動)
11			
12			
1			
2			
3	1	1	M. N(採用)S. S(退職)
合計	5	3	

III. 見学・実習生の受入状況

月	日	見学・実習生名
5	5/20~6/1	光塩学園女子短期大学実習生受け入れ(2名)
7	7/15~8/1	経専北海道保育専門学校実習生受け入れ(3名)
8	1	余市養護学校施設見学(8名)
8	8	札幌伏見養護学校施設見学(1名)
9	19	札幌市清田区民生委員・児童委員施設見学(20名)
10	15	北広島福祉会施設見学(35名)
10	18	歌棄慈光園施設見学(11名)
11	6~7	岩内高校インターンシップ事業(3名)
	20	岩内町西小学校5年生交流会(49名)
	22	歌棄慈光園施設見学(12名)
	22	札幌市新川地区民生委員施設見学(20名)
	26	岩内町東小学校4年生交流会(36名)

IV. 研修の状況

1. 職場外研修の実施状況

月	日	研修名	開催地	派遣職員
4	9～11	強度行動障害支援者養成研修 基礎・実践コース	福岡県	A. M、K. N
	12	平成 31 年度 後志知的障がい福祉協会定期総会	小樽市	園長、S. M、F. M
	26	第 1 回支援研究委員会	小樽市	F. M
5	9	岩内地方栄養士会定期総会、座談会	岩内町	K. Y
	15	岩宇地区自立支援協議会 第 1 回 担当者会議	共和町	O. K
	22	2019 年度定時総会	札幌市	園長
	22～23	2019 年度 全道施設長セミナー	札幌市	園長、S. M
	24	第 2 回支援研究委員会	小樽市	F. M
	26	2019 年度北海道知的障がい児・者家族会連合会 研修会及び総会	札幌市	O. K
6	5	令和元年度法定講習会	岩内町	K. M
	6～7	令和元年度 施設見学 1 グループ	札幌市	M. K、M. A、T. A S. S、K. M
	7	平成 31 年度広報講習会	札幌市	O. K
	10	令和元年度 施設職員スキルアップ講座 中堅職員 編	札幌市	M. T、N. K
	12～13	令和元年度 施設見学 2 グループ	札幌市	園長、O. K、M. T、 T. D、T. Y、O. F N. N
	13	第 3 回支援研究委員会	小樽市	F. M
	19	災害対策委員会	札幌市	園長
	20	2019 年接遇講習会	札幌市	F. S、K. N
	20～21	令和元年度 施設見学 3 グループ	札幌市	M. K、H. S、F. M K. Y、K. N
	20～21	防火管理者講習	岩内町	K. M、M. T
	27～28	令和元年度 施設見学 4 グループ	札幌市	園長、O. K、K. M F. S、I. K、F. I、 A. M、A. S
7	4～5	令和元年度 施設見学 5 グループ	函館市	O. K、T. M N. K、 M. Y、O. K
	10～11	令和元年度 施設見学 6 グループ	北広島市	S. M、S. M、H. O N. S、Z. K、
	11～12	令和元年度 新任経理・総務担当者研修	札幌市	T. M
	12	第 4 回支援研究委員会	余市町	F. M
	18～19	令和元年度 看護師専門研修	札幌市	O. E
	19	PECS をはじめてみませんか？	小樽市	M. A、T. D
	22～23	令和元年度 全国知的障害関係施設長等会議	神奈川県	園長、M. K
8	1	令和元年度 権利擁護セミナー	札幌市	K. M、S. S
	6	放射線防護施設担当者研修会	積丹町	H. S、M. T
	16	第 5 回支援研究委員会	古平町	F. M
9	12	2019 年度北海道サービス管理責任者更新研修	余市町	S. M
	12	令和元年度(2019 年度)指定障害福祉サービス事業者 に対する集団指導の実施	倶知安町	M. K
	13	第 6 回支援研究委員会	黒松内町	F. M

	18	岩宇地区自立支援協議会 令和元年度第3回相談支援事業担当者会議	岩内町	O. K
	27	令和元年度 後志知的障がい福祉協会 権利擁護研修会	共和町	K. M、F. S、H. M
	27	令和元年度 災害対策研修会	札幌市	園長、M. K T. M、F. I
10	8	令和元年度 全道知的障がい関係職員研究大会	札幌市	O. K、S. M
	9	事故予防と緊急時対応研修	札幌市	M. Y、K. T
	11	第7回支援研究委員会	仁木町	F. M
	18	公益社団法人北海道栄養士会福祉栄養士協議会 令和元年度秋期研修会	札幌市	K. Y
	22~24	第57回全国知的障害福祉関係職員研究大会(鹿児島県大会)	鹿児島県	N. S、S. R
	29	2019年度北海道知的障がい児・者家族会連合会 第2回研修会	札幌市	M. T
	30	令和元年度 後志知的障がい児・者家族会連合会 交流会	小樽市	園長、M. K
11	5	令和元年度(2019年度)岩内保健所感染症講座	岩内町	S. R、K. Y
	6	第8回支援研究委員会	仁木町	F. M
	12~13	椎茸栽培研修会	苫小牧市	N. S
	14	令和元年度 防災業務関係者研修	仁木町	S. M
	18	令和元年度 業務説明会	札幌市	T. M、M. A
12	6	第9回支援研究委員会	岩内町	F. M
	6	令和元年度第1回岩内町福祉・介護・医療・教育関係 機関原子力防災連絡会	岩内町	園長
	10~11	2019年度 日中活動支援部会全国大会 北海道大会	札幌市	K. M、N. N
	12~13	令和元年度 4法人自閉症勉強会『強度行動障害支 援実践研修会』	仁木町他	M. A、T. D
	13~14	令和元年度 後志知的障がい福祉協会 職員研修会	小樽市	A. M、Z. K
	19	令和元年度(2019年度)給食施設等従事者研修会	岩内町	K. Y
1	15~16	令和元年度 幹部職員研修会	札幌市	S. M
	21	令和元年度 後志知的障がい福祉協会 第2回運営研究委員会	仁木町	園長
	27~29	2019年度 相談支援従事者研修[現任研修]	札幌市	H. S
2	7	社会福祉法人の予算策定 決算処理の実務解説	札幌市	T. M
	14	令和元年度 後志知的障がい福祉協会 希望の会部会「希望の会 広報誌作成」	仁木町	F. M
	17	令和元年度 臨時総会	札幌市	園長
	17~18	令和元年度 全道施設長研修会	札幌市	園長、M. K
	21	令和元年度札幌市知的障がい福祉協会職員研修会	札幌市	I. T、O. K、T. A
	28	令和元年度 日帰り施設見学1グループ	岩内町	園長、M. K、S. R K. M、M. H、 K. H、T. K、M. A H. H、H. J、
3	4	令和元年度 日帰り施設見学2グループ	岩内町	園長、S. M、I. T K. T、O. E、H. M E. T、M. Y、 K. M、N. S M. A、T. M
	13	後志知的障がい福祉協会支援研究委員会	小樽市	F. M

2. 職場内研修の実施状況

月 日	テーマ	講師	参加人員
6/4	基礎救命講習	岩内町消防署員、救急救命士	19名
7/30	交通安全と交通事故防止について	北海道札幌方面岩内警察署 交通課長	25名
10/17	(講演 1) 選ばれる社会になるための経営戦略と人材の採用 (講演 2) お子さんの気になる行動とそのワケ～作業療法士の観点から	株式会社3eee代表取締役 一視同仁会 札幌・すがた医院 作業療法士	11名
1/22	防犯対策講習会	北海道札幌方面岩内警察署 刑事・生活安全係	25名
2/6	障がい者の権利擁護について	権利擁護伝達研修修了者 主任F. M	30名
2/28	防犯対策講習会	北海道札幌方面岩内警察署 刑事・生活安全係	5名
			合計 115名

V. 年間行事の実施状況

月	日	行事名	月	日	行事名
4	1 22	開園記念日 ランチ会	10	1 19 29 31	日帰り旅行(余市) 希望の会文化祭 ランチ会 はばたけ会行事
5	27	バーベキュー	11	2 26	利用者ボーリング大会 ランチ会
6	27	ランチ会	12	13 19	ローソン訪問販売 クリスマス会
7	7～9 26 31	岩内祭り 夏祭り ランチ会	1	24	新年会
8	27	ランチ会	2	3 14 20	節分行事 バレンタイン行事 ローソン訪問販売
9	10 20 26	日帰り旅行(ルスツ) " (余市ニッカ) バーベキュー	3	19 24	ローソン訪問販売 ランチ会

VI. 生活支援の実施状況

1. 各種スポーツ大会等の状況

月 日	大会名	参加利用者、結 果	参加利 用者数
8/23	平成31年度後志知的障がい福祉協会 利用者パークゴルフ大会(倶知安町)	M. Mさん、S. Hさん、S. Mさん H. Hさん	4名
11/2	平成31回北海道障がい者ボウリング大 会(小樽市)	M. Mさん、I. Kさん、T. Kさん H. Hさん	4名

2. 社会生活活動について

余暇外出、プール、体育館での軽運動などそれぞれの目的にあわせて活動しており、平成31年度については以下を重点に支援した。

(1) 社会生活活動の内容について

- ・余暇外出では、町内の販売店や飲食店を利用して買い物を楽しんだ。また、冬期間は感染症流行時期で通院以外の外出を控えていたことから、コンビニエンスストアの訪問販売を利用して園内で買い物が行えるように支援した。今年度は計画的に体育館での軽運動やプールサークルを実施しており、余暇の充実と気分転換を図ることが出来た。
- ・月2～3回程度で5～6人が集まり、ハンドメイドサークルを開催し、園内に展示する作品や編み物を行った。
- ・利用者の方が活動に参加した際に、記録管理システム(クレヨン)へ確実に記録する事で、個別の参加状況を細かく把握できる様に取り組んだ。

3. サークル・コンサート鑑賞の実施状況

サークル・コンサート名	実施場所	実施日時	利用者登録	年間実施回数
ハンドメイドサークル	施設内	月2～3回程度	5～6名	25回
八代亜紀アコースティックコンサート	岩内地方文化センター 大ホール	2/14(金)	7名	1回

4. 避難訓練の実施状況

月 日	訓練の種類	訓練の内容	利用者参加人数	年間実施回数
6/26	自主訓練・消火訓練	通報訓練・避難訓練・消火訓練	77名	3回
9/30	自主訓練	土砂災害避難訓練	94名	
10/25	自主訓練	地震災害避難訓練	72名	

5. 建物や設備の整備について

- ア. プロジェクターとスクリーンの老朽化に伴い、11月5日に更新した。
- イ. 大友福祉振興財団から歩行訓練用階段の助成が決定し、11月15日に納品された。
- ウ. 体操プログラムが入ったカラオケ通信機器のリースを12月20日から開始した。
- エ. 第二作業棟(物置小屋)の解体作業が12月25日に終了した。
- オ. 清水基金に申請していた個別支援グループ活動棟増築工事の助成が決定し、新年度に工事を進める。
- カ. 平成20年度に大友福祉振興財団の助成によりAED(1台)を整備したが、型が古くなり部品交換も難しくなることから令和2年3月19日に更新した。

6. 生活棟(別棟)えみしあの運用について

生活棟(別棟)えみしあで若干利用者の方の入れ替えを行う中で高齢者に限らず、個々の特性に応じた利用者が生活できる環境とした。今後も見極めを行いながら運用を行うこととする。

7. 通院や入院への対応について

今年度は男女合わせて10名の利用者の方が入院となった。医療行為や身体機能の低下によりあけぼの学園での生活が困難となり、4名の利用者の方が退所となった。更に、病状悪化に伴い逝去された方が1名、退所後に逝去された方が1名となり、ご家族と共に辛い時間を乗り越えなければいけない状況であった。高齢化や病状悪化に伴い年々、入院に至るケースが増えていることから、町内の医療機関に受診した際、診断によっては小樽市や札幌市の医療機関へ再受診または医療行為が継続的に必要となるケースが増えている。今後も通院や入院に至るケースについて、学園とご家族とで連携を図りながら慎重に進めていく。

8. 新型コロナウイルスへの対応について

2月に国から感染症予防対策の徹底を図るよう通知があったことから、法人の対応に基づきあけぼの学園においても、体調管理、不要不急の外出を控え、ご家族においては面会等の制限をお願いした。また、感染症の発生に備え、衛生用品の確保、マニュアル等を整備した。今後も情報収集を行い、ご家族にご理解とご協力を頂きながら感染予防に努めていく。

9. リハビリ支援について

医師の指示の下、リハビリが必要であると診断を受けた利用者の方を対象とし、作業療法士が中心となり11月1日からリハビリを開始した。個々に合わせたプログラムを作業療法士が組み立て、支援ワーカーや看護師が連携して機能訓練を行った。今後も利用者個々の身体機能や生活状況を把握しながら専門的な支援を行う。

10. 日帰り旅行の実施について

9月と10月に利用者の方の希望を取りいれながら、3コースに分かれて日帰り旅行を実施した。例年通りご家族の参加も募り、短い時間ではあるが楽しい思い出を作ることが出来た。

11. 防犯への取り組みについて

1月22日、岩内警察署職員6名が来園し、職員への防犯講習会と実地指導を行った。当日は女子棟で感染症が流行しており、一部職員の参加となったことから、2月にサンライズで行われた防犯講習会へ新たに5名の職員が参加した。

12. 学校との連携と将来的な人材確保について

毎年行っている町内の小学生と利用者の方との交流会を行った。更に今年度は岩内高校のインターンシップ事業により3名の生徒さんを受け入れ、福祉の仕事について体験してもらった。今後も地域へ向けたPRや将来的な人材確保に努めていく。

13. 広域避難訓練の実施について

原子力災害における原子力防災訓練を令和2年2月13日に実施した。今回は冬期間による訓練と新型コロナウイルス感染症発生に伴い、法人協定先への避難は行わず屋内退避と通報訓練のみ実施した。次年度も引き続き訓練を行い、有事の際に備えることとする。

14. グループホーム ラフォーレの支援について

サンライズの生活介護から学園の生活介護へ移行した利用者の方に対し、生活拠点であるグループホームと情報を共有し出来る限りのバックアップを行った。今後もグループホームと連携を図りながら、利用者の方が落ち着いて生活することができるよう支援する。

15. 在宅(通所)利用者の支援について

通所時は検温等を実施し、健康状態の把握を行った。また、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、法人の対応に沿って、(自宅での検温、発熱時の対応、マスクの着用等)ご家族へ文書を発送した。

その他、通所後体調が優れない場合は、速やかにご家族へ連絡を行い、体調不良が悪化しないよう配慮し、ご家族の都合により自宅での生活が困難な場合は、短期入所の受け入れを可能な限り行った。

更に、他都道府県への入所を見据えた短期入所を希望された利用者の方について、岩宇地区相談支援センターと連携を図りスムーズに短期入所の体験利用が行えるよう支援した。

16. 記録管理システムについて

記録管理システムを活用し、利用者の方の日常の生活状況をきめ細かく把握し記録することを徹底し、そのデータを健康管理や個別ケース等の支援に活用した。

また、蓄積されたデータを活用しモニタリングやアセスメント(評価)を行ない、利用者の方の個別支援計画(ケアプラン)を策定した。

17. 障がい者虐待防止法について

障がい者虐待防止法を順守し、施設内における虐待防止委員会を毎月開催した。また、虐待防止に関わる研修会の定期的な開催と外部研修への参加を積極的に行なった。更に、職員は支援項目を確認するチェックシートの実施、利用者の方については利用者自治会(はばたけ会)を通して虐待についての説明を行った。

18. 生活介護の定員の在り方について

将来的な生活介護の定員のあり方について、岩宇地区相談支援センターと連携して調査を行う予定であったが、利用者の方が退所した事で、利用者の方の確保を優先した事により新しい事業調査は見送った。

19. 利用料収入と支援スタッフの確保について

国や利用者から支払われる一般的な支援費のほか、重度障がい者支援加算や人員配置体制加算などを活用し、施設の収入財源を確保したうえで、国が定める一定の配置基準以上(今年度実績は利用者1.7名に対して支援スタッフ1名以上)の支援スタッフにより、利用者に対する日々の支援サービスを提供することが出来た。更に、11月から若干ではあるがリハビリ加算の算定を加えている。

夜間は継続してあけぼの学園本体に職員3名、生活棟別棟(えみしあ)にも夜勤職員1名を配置し、今年度は男子棟夜間専門職員を確保したことから、新年度以降は夜間専門職員と日中支援職員とで協力を行い、更なる支援向上を目指すこととする。

VII. 食事提供業務の状況

1. 選択食、希望食の実施

複数の料理からその場で好きなほうを選択する献立、メニューブックを参考にして自分の食べたい料理を自由にリクエストし、それを献立に反映させた。更に、利用者の方と職員とでおやつ作りを行い、実食を楽しんだ。

2. 行事食、野外での食事会の実施

毎月のランチ会、開園記念日、新年会などの行事食のほか、野外での食事会(炭火でのバーベキュー)を行った。

3. 特別食、エネルギー制限食の提供

腎臓疾患、糖尿病の利用者の方への特別食の提供、咀嚼、嚥下が困難である利用者の方への数種類に分けた刻み食の提供など、利用者の方の健康状態に合わせた食事の提供を行なった。

また、個人の年齢、体型、運動量、代謝量などを考え、通常の1,800kcalの食事のほか、若年層男女の2,000kcal、さらに1,600kcal、1,460kcalの食事提供区分を設定し、利用者の方の健康に配慮した。

VIII. 健康管理の実施状況

1. 日常生活における予防及び衛生

①生活習慣として、うがい、手洗い及び手指消毒を行った。(洗面所や出入り口にはアルコール消毒液を常設)また、手拭用のタオルを用意し、一回毎一人一枚ずつ使いきるよう、更に感染時は紙ペーパーを使用することで感染拡大を防いだ。

②入浴時は全身の怪我や皮膚の状態を観察し、異常があれば看護師へ報告し迅速に対応するよう努めた。

2. 住環境の清潔と感染性疾患の予防

①毎日のトイレの消毒、又各月ごとに全館の消毒を行った。

②ハセツパー水(除菌・消臭効果のある微酸性次亜塩素酸水)に対応した噴霧器を男女各棟、えみしあのDルームに設置することで感染症の予防に努め、併せて加湿器も設置し温度及び湿度の調整に心掛けた。

3. 日常の健康管理

①検温を毎朝測定、異常のあるときは通院を行い、軽易の症状であれば常備薬で対応した。また、感染症が施設内で蔓延した場合は、1日3回検温を行い速やかに受診が行えるよう対応した。状況については、看護記録に記載するとともに記録システムに詳細な記録をとった。

②全利用者さんを対象に月1回体重測定を行った。また、体重の推移を細かくチェックする必要がある利用者の方については、毎週体重測定を行った。

- ③50歳以上の方と高血圧、循環器症状のある方については、毎日血圧測定と血中酸素濃度を測定し、50歳以下の方に対しては、週1回血圧測定を実施した。数値が安定しない利用者の方に対しては通院を行い、状況や様子については健康管理委員会や各ケース会議で協議した。また、肥満防止のために、食事量の検討、ウォーキング、近隣の体育館を利用した運動や体操などを行った。
- ④嚥下困難な利用者の方に対して「健口体操」を継続して行った。更に嚥下機能の低下が顕著となった利用者の方についてはリハビリ専門医へ受診、必要に応じて入院を行い、食事形態や支援の見直しを図った。
- ⑤男女各棟やえみしあを巡回し、利用者の方の健康状態をチェックした。
- ⑥インフルエンザの予防接種を行った。
- ⑦感染症対策として、研修への参加や支援ワーカーへの実演を行った。更に、感染症についての情報収集を行い、職員や利用者へ注意喚起を促すと共に衛生用品の備蓄管理を行なった。

4. 健康診断の実施と各種検診の受診

- ①施設で実施する年2回の健康診断の他、岩内町で実施する各種検診(胃癌、乳癌、婦人科検診)を受診し、早期発見に努めた。また、身元引受人の了解を頂き、血液検査による癌検診(血液マーカー検査)、便採取による大腸がん検診を実施した。
- ②町内の歯科医院で治療が可能な利用者の方については町内で治療を行った。また、町内での治療が困難な利用者の方については、北海道大学歯学部へ通院し治療を行なった。

5. 感染症罹患患者への対応について

毎年心配されているインフルエンザであるが、今年度は利用者4名、職員5名が罹患した。速やかに感染症対策(食事を男女別、罹患者は個室に隔離など)を行い女子利用者、女子職員のみで終息した。更に3月に職員1名がノロウイルスに罹患し入院した。その後、施設内で感染性胃腸炎が蔓延し、利用者15名、職員14名の計29名が罹患した。保健所からのアドバイスを元に再度感染症対策を講じ、今後の対応に繋げていく。

6. 新型コロナウイルスへの対応について

2月に入り、施設等で新型コロナウイルス感染症が発生した場合の対応について、厚生労働省から文書で通知があり、あけぼの学園でも通所、入所利用者の方の身元引き受け人へそれぞれ文書を発送した。

また、利用者の方については通院以外の外出を控え、施設内への立ち入りや面会についても制限を設けた。更に、ゴールデンウィークは札幌圏への帰省を中止させて頂き、同じく通院においても病院側と相談し日程を延期するなどの対応を行った。職員についてはマスク着用を徹底した中での支援とし、体調管理や行動を含め注意喚起を行った。

IX. 苦情解決について

今年度においても法人の苦情解決第三者委員の方に施設を訪問していただき、7月と12月の年2回内容を報告させて頂いた。身元引受人も含めた苦情と要望が11件あり、これらの機会にあわせて報告した。なお、12月は報告後にクリスマス会行事に参加して頂き、利用者の方との交流を図っていただいた。

また、朝の朝礼や毎月行なう利用者自治会の会議の中で、利用者の方から何点か要望が聞かれ、軽微な要望であった為、これについてはその都度解決した。

X. 日中活動支援の状況

日中活動区分	生活介護(入所)	生活介護(通所)	生活介護(合計)	サンライズ(通所)
人数	49名	10名	59名	1名

1. 日中活動グループの状況について(令和2年3月31日現在) ※○印は活動グループ運営責任者

活動グループ名		平成30年度日中活動編成				在籍数	運営責任者
		利用者名					
生活介護	生活介護 Ⅰ (いきいき)	I. Zさん	S. Kさん	T. Kさん	8名	○K. M A. M	
		T. Kさん	M. Tさん	Y. Tさん			
		O. Rさん	T. Mさん				
	生活介護 Ⅱ (のびのび)	N. Rさん	K. Yさん	T. Mさん	9名	○M. T T. M	
		N. Tさん	Y. Hさん	S. Sさん			
		O. Tさん	K. Sさん	A. Tさん			
	生活介護 Ⅲ (創作活動)	M. Sさん	Y. Tさん	I. Kさん	14名	○F. M M. Y	
		T. Tさん	S. Hさん	W. Tさん			
		W. Aさん	W. Hさん	K. Kさん			
		N. Yさん	T. Yさん	E. Hさん			
生活介護 Ⅳ (個別支援)	K. Hさん	T. Tさん	A. Sさん	9名	○M. A S. S A. K		
	I. Hさん	I. Gさん	S. Kさん				
	N. Hさん	H. Hさん	K. Tさん				
V (発達支援)	T. Tさん	O. Sさん	K. Kさん	6名	○N. K T. D		
	T. Kさん	S. Mさん	K. Kさん				
生活介護 V (しいたけ)	M. Mさん	M. Mさん	Y. Mさん	13名	○N. S F. S N. N		
	U. Kさん	M. Hさん	H. Yさん				
	A. Kさん	K. Kさん	A. Tさん				
	K. Yさん	I. Rさん	I. Hさん				
	N. Kさん						

※個人情報の取り扱いにご配慮くださいますようお願いいたします。

2. 各グループの活動状況について

①生活介護Ⅰ(いきいき)グループ

○目標(重点目標)

- ①楽しんで活動に参加出来るように個々に応じた個別課題等を設定する。
- ②健康面に配慮しながら身体機能維持に向けたリハビリテーションを提供し、活動やストレス軽減・健康維持に努める。

○どのような取り組みを行うか

- ①利用者の方が好む活動を提供する。
- ②検温と血圧を測定してから活動に臨む。また、活動中も利用者の方の健康状態などに留意した上で活動内容を提供する。
- ③学園内周辺の散歩や、個別にリハビリテーションを提供し身体機能維持に努める。
- ④レクリエーションを実施し、活動への意欲向上とリフレッシュに繋げる。

○後期の取り組みに対する評価

- ①個別課題としてパズル、洗濯バサミや醤油キャップを使用した指先の運動、ビーズ作成、塗り絵など個々の特性に合わせた活動を提供しており、意欲を持って取り組んでいた。
- ②活動前に検温・血圧・血中酸素濃度を測定し、健康状態等に留意した上で活動しており、大きく体調を崩す利用者の方は見られなかった。
- ③作業療法士と連携し、近距離での散歩、身体機能維持運動を提供しながら、随時内容を見直す事で顕著な身体機能の低下等は見られなかった。
- ④ドライブや短距離の散歩に出掛けたり、えみしあ棟内で音楽に合わせた踊りなどのレクリエーションを行ない、活動への意欲向上や気分転換に繋げることができた。

②生活介護Ⅱ(のびのび)グループ

○目標(重点目標)

- ①楽しんで活動へ参加出来るように活動内容を設定する。
- ②身体機能の維持とストレス軽減・健康維持に努める。

○どのような取り組みを行なうか

- ①利用者の方の趣向に合わせて活動を提供する。
- ②利用者の方の心身の状態を把握した上で活動を提供する。
- ③冬期間は、園内歩行とドライブを取り入れ、気分転換を図る。
- ④ストレス軽減と活動意欲の向上に繋がるよう、レクリエーションの機会を設ける。

○後期の取り組みに対する評価

- ①前期の活動を基にパズルやブロック、編み物など指先を使った活動や、ドリルやお絵かきなど個々の特性に寄り添った活動をしており意欲的に取り組んでいた。今後も、随時、個別課題の更新を行なっていく。
- ②朝のバイタルチェックや健康状態を把握したうえで、個別課題の他に作業療法士を中心に歩行訓練用階段やエアロバイク等を取り入れて活動に取り組んだ。
- ③冬期間は、個別課題の他に園内歩行や軽運動(階段昇降、エアロバイク)を取り入れ、運動不足にならないよう心掛け活動を提供した。ドライブについては、定期的ではなかったが気分転換の一環として行った。
- ④2月におやつ作りと昼食を兼ねてケンタッキーフライドチキンを食べている。簡単なおやつ作りを行うことで、楽しい時間を過ごす事が出来た。今後も活動への意欲向上へ繋がるようレクリエーションを実施する。

③生活介護Ⅲ(創作活動)グループ

○目標(重点目標)

- ①楽しんで活動に参加出来るように個々に応じた創作活動を設定する。
- ②散歩や歩行訓練などの身体を動かす活動を取り入れ、身体機能の維持とストレス軽減・健康維持に努める。また心身のリフレッシュを図る為、レクリエーションなどを提供する。

○どの様な取り組みを行うか

- ①個々の能力や興味がある事、季節に応じた創作活動の内容を設定する。また、完成品を父母会等で配布を行ない、学園内で展示する事で、活動意欲の向上に繋げる。
- ②散歩や軽運動を取り入れ、健康維持に努める。
- ③レクリエーションを実施する事で、心身のリフレッシュを図る。

○後期の取り組みに対する評価

- ①利用者の方の希望や特性に応じて、アクリルたわしの作成・行事等に使う創作物の作成や個別課題を提供し、取り組む事が出来た。また、障がい児親の会の卒業生へのプレゼント作りとして、初めてタイルコースターの作成を行った。新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、卒業生を励ます会が中止となり直接渡すことは出来なかったが、意欲的に取り組んだことで良い作品を作ることが出来た。
- ②冬期間において、天候不順や感染症の流行もあって、散歩など体を動かす活動に取り組めなかったが作品作りを中心にいき、利用者の方も穏やかに過ごされており、活動中において体調を崩される方はいなかった。
- ③3月にレクリエーションとして、えみしあ棟でカレーライスとビーフシチューを選んで頂く形で利用者の方に昼食を提供している。屋内ではあったが楽しく過ごされており、次年度以降も感染症への配慮を行いながら継続する。

④生活介護Ⅳ(個別支援)グループ

○目標(重点目標)

TEACCHプログラムの理念を取り入れた支援を提供しながら見通しの持てる活動を提供する。

○どの様な取組みを行なうか

- ①個別課題を定期的に更新する。
- ②その都度、固執の変化に合わせ生活場面と連携を図りながら対応していく。
- ③レクリエーションを実施し、気分転換を図る。混乱を軽減するため、今回は活動グループ毎に行なう予定となっている料理実習をレクリエーションとして行なう。

○後期の取り組みに対する評価

- ①随時課題の見極めを行ない、更新や改良を行なった。また、全体的に補修も行ない継続して使用で出来るようにした。
- ②その都度生活場面の様子を把握し、活動場面から変更可能な部分には対応を行なった。また、一部のケースにおいては、生活場面も含めた対応を行ない、活動中の行動の安定を図った。
- ③2月に活動棟で、食事(ピザ)を取り入れたレクリエーションを実施した。料理実習については、感染症流行に伴って実施出来ず延期となった。

⑤生活介護V(発達支援)グループ

○目標(重点目標)

- ①個々に合わせたスケジュール、個別課題を提供し、落ち着いた環境で見通しが持てる活動を提供する。
- ②様々な固執の変化に対応できるよう生活場面と連携を図り、その都度、支援や活動の見直しを行ない、落ち着いて活動に取り組めるよう配慮する。
- ③レクリエーションを設けることで活動への意欲向上に繋げる。

○どの様な取り組みを行うか

- ①個々に合わせた個別課題を更新し、その都度見極めを行いながら落ち着いて取り組める環境を整える。
- ②その都度、固執の変化に合わせ、生活場面と連携を図りながら対応する。
- ③活動参加への意欲向上を図れるよう、レクリエーションを実施し、活動への意欲向上に繋げる。

○後期の取り組みに対する評価

- ①個々に合わせて個別課題を作成した。しかし、課題を制作する時間が確保できず、一部しか課題の更新を行なうことができなかった。スケジュールの提示方法や促し方、環境については本人の取り組む状況を見極めながら、落ち着いた環境を整える事で穏やかに参加する事が出来ていた。今後、活動グループの再編成に伴い、利用者の方の異動も発生する為、利用者個々の取り組みについて引き継ぎを行なう。
- ②生活場面と連携し、利用者の方の状態把握を行ない、無理なく取り組めるように対応した。また、できるだけ活動を提供することでメリハリのある日課を組み立てることができた。
- ③3月にレクリエーションとして、町内の飲食店からオードブルを注文し昼食をとっており、利用者の皆さんは楽しんで食事をされていた。今後も利用者の方楽しんで頂き、意欲の向上に繋がるよう実施する。

⑥生活介護VI(しいたけ)グループ

○目標(重点目標)

- ①椎茸の品質の安定及び、委託販売店に安定した供給ができるように、計画的な製造量の確保に努める。
- ②活動メニューを個々の利用者の方に設定し、椎茸の栽培を通して活動に対する意識を養う。また、活動に対する基本的な動作が身に付けられるように支援する。
- ③軽運動やレクリエーション活動を適宜に取り入れ健康増進、心身のリフレッシュに努める。

○どの様な取り組みを行うか

- ①椎茸の栽培、関わる活動を分担して提供する事で活動に対する意識を高める
- ②ほだ木の運搬、椎茸採取、製造の補助業務を中心に活動を提供する。
- ③適宜、作業棟、休憩室、椎茸ハウス内の掃除を実施する。
- ④散歩等の運動やレクリエーション活動を行ない、健康の増進と気分転換を図る。

○後期の取り組みに対する評価

- ①椎茸に関しては、作業前、作業中に行なう内容について利用者の方に説明する事で、理解した上で活動に取り組んで頂く事が出来たが、発生が少なく活動の提供が十分ではなかった。
- ②ホダ木の運搬や採取等の補助業務は、職員と一緒に行った。
- ③適宜、活動終了後にハウス内や休憩室の掃除を職員と一緒に行った。
- ④椎茸栽培に関わる活動を中心に行なったことから、散歩等の運動は行なわなかった。
11月にレクリエーションを行い、町内の焼肉店で食事会を行った。3月は町内の店舗よりお弁当を取り寄せ、デザートを作って活動休憩所にて食べている。利用者の方においては楽しんで参加されており、感染症への配慮を行ないながら今後も継続する。